

			その他		
	計(A)			4,200,000	-

活動内容① (アクティビティ)		【環境領域におけるSATREPS案件の実施】 地球規模課題対応に資する5つの研究テーマのうちの一つ。生態系・生物多様性の劣化、環境汚染の拡大、都市への人口集中、生産・消費活動の増大、気候変動などにより地球規模で直面している環境問題の解決を目指している。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	6年度 活動見込	7年度 活動見込
		SATREPS環境領域において、相手国政府からの要請書と、日本側研究者からの事業提案書とが揃った案件について、相手国及び我が国の政策・協力重点課題との整合性等を確認し選考の上で採択する。	採択案件数	活動実績	件	3	3	3		
				当初見込み	件	2～3	2～3	2～3		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際共同研究や相手国における社会実装を持続的に可能とするために、相手国研究機関の研究者に対する本邦研究機関での研修を通じて、人材育成(キャパシティディベロップメント)を図る。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度	
		SATREPS環境領域における実施案件下で、人材育成が図られる。	来日した研究員数	成果実績	人	4	28	45		
				目標値	人					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		外務省運営費交付金分の外国人研究員受入の人数(JICA機構内で取りまとめた数)。 相手国実施機関(大学・研究機関等)の実施体制(人員、予算等)におけるバラつきが大きいため、目標値を立てることは困難。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	SATREPS事業において育成(キャパシティディベロップメント)された相手国研究者と日本側研究者によって国際共同研究が行われ、地球規模課題解決に繋がる研究成果が出される。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度	
		論文数(共著)		成果実績	本(累積)	583	727	851		
				目標値	本(累積)					
達成度	%			-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		SATREPS環境領域における実施案件下で、地球規模課題解決に繋がる研究がなされることを通じて、相手国研究機関の研究能力が向上する。	学会発表数	成果実績	報(累積)	4,238	4,433	4,433		
				目標値	報(累積)					
達成度	%			-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		特許出願数		成果実績	件(累積)	7	9	9		
				目標値	件(累積)					
達成度	%			-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		論文数(共著): 日本側研究機関からJICA・JST・AMEDへの報告。 学会発表数・特許出願数: JST・AMEDで取りまとめた数(日本人研究者単独の実績も含まれる)。なお、令和5年度データは両機関が集計中。 地球規模課題対応というチャレンジングな分野において、論文・学会発表・特許出願の量のみならず質をも重視しているところ、目標値の設定は馴染まない。								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	SATREPS事業において産出された地球規模課題解決に繋がる研究成果を、実社会におけるインパクト発現に結びつけるため、社会実装を図る。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標最終年度 年度	
		SATREPS環境領域における研究成果が、社会実装される。		成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	2021年度に実施した社会実装状況に係るレビューの結果として、2008～2016年度に採択された 環境領域 31案件(実施中案件を含む)のうち、25案件が、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)等に記載された社会実装を全面的もしくは部分的に実現済、または継続取組み中。 事例としてタイでは、洪水の観測・予測技術や干ばつの脆弱性指標といった気候変動適応策の手法が開発され、同国の気候変動基本計画や国家適応計画に反映されると共に、具体策として、河川のリアルタイム観測データの一般公開につながる等した。またマレーシアでは、害虫やメタンガスの発生源であったアブラヤシ廃材の再利用・資源化方法が開発され、農園の新たな収入減や新産業の創出につながった。
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由

活動内容② (アクティビティ)		【カーボンニュートラル領域】におけるSATREPS案件の実施】 地球規模課題対応に資する5つの研究テーマのうちの一つ。温室効果ガスによる気候変動を緩和する低炭素社会の実現を目指して、エネルギー消費の抑制、再生可能エネルギーの促進、スマートソサイエティなどの研究開発を行っている。									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	6年度 活動見込	7年度 活動見込	
		SATREPSカーボンニュートラル領域において、相手国政府からの要請書と、日本側研究者からの事業提案書とが揃った案件について、相手国及び我が国の政策・協力重点課題との整合性等を確認し選考の上で採択する。	採択案件数	活動実績	件	2	1	3			
				当初見込み	件	2～3	2～3	2～3			
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国際共同研究や相手国における社会実装を持続的に可能とするために、相手国研究機関の研究者に対する本邦研究機関での研修を通じて、人材育成(キャパシティディベロップメント)を図る。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		SATREPSカーボンニュートラル領域における実施案件下で、人材育成が図られる。	来日した研究員数	成果実績	人	8	41	36			
				目標値	人						
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		外務省運営費交付金分の外国人研究員の受入人数(JICA機構内で取りまとめた数)。 相手国実施機関(大学・研究機関等)の実施体制(人員、予算等)におけるバラつきが大きいため、目標値を立てることは困難。									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	SATREPS事業において育成(キャパシティディベロップメント)された相手国研究者と日本側研究者によって国際共同研究が行われ、地球規模課題解決に繋がる研究成果が出される。									
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		論文数(共著)		成果実績	本(累積)	148	160	189			
				目標値	本(累積)						
達成度	%			-	-	-	-				
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度			
		SATREPSカーボンニュートラル領域における実施案件下で、地球規模課題解決に繋がる研究がなされることを通じて、相手国研究機関の研究能力が向上する。	学会発表数	成果実績	報(累積)	2,110	2,369	2,369			
				目標値	報(累積)						
達成度	%			-	-	-	-				
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度			
		特許出願数		成果実績	件(累積)	19	19	19			
				目標値	件(累積)						
達成度	%			-	-	-	-				
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		論文数(共著): 日本側研究機関からJICA・JST・AMEDへの報告。 学会発表数・特許出願数: JST・AMEDで取りまとめた数(日本人研究者単独の実績も含まれる)。なお、令和5年度データは両機関が集計中。 地球規模課題対応というチャレンジングな分野において、論文・学会発表・特許出願の量のみならず質をも重視しているところ、目標値の設定は馴染まない。									
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	SATREPS事業において産出された地球規模課題解決に繋がる研究成果を、実社会におけるインパクト発現に結びつけるため、社会実装を図る。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標最終年度 年度		
		SATREPSカーボンニュートラル領域における研究成果が、社会実装される。		成果実績							
				目標値							
達成度	%			-	-	-	-				

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	2021年度に実施した社会実装状況に係るレビューの結果として、2008～2016年度に採択されたカーボンニュートラル領域15案件(実施中案件を含む)のうち、12案件が、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)等に記載された社会実装を全面的もしくは部分的に実現済、または継続取組み中。 事例としてタイでは、交通予測シミュレーション、AIによる映像診断・評価等を通じて、低炭素社会科とQOLが向上する政策パッケージが開発され、バンコク都の都市交通計画への反映が検討途上にある。またインドでは、交通ビッグデータの分析や、複数の交通機関間の連携等によって、低炭素社会を目指したスマートシティ構築が進行中である。
アウトカム設定についての説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由

活動内容③ (アクティビティ)		【生物資源領域におけるSATREPS案件の実施】 地球規模課題対応に資する5つの研究テーマの一つ。近年、農地の砂漠化や塩類集積、病虫害の蔓延、気温や降雨の不安定化等により、生物資源の持続的な生産が脅かされている中、食料や薬、飼料、繊維やエネルギー源など、生物資源がもたらす恩恵を将来にわたって享受し続けるために、持続可能な生産・利用方を提示する。								
↓										
活動目標及び活動実績③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	6年度 活動見込	7年度 活動見込
		SATREPS生物資源領域において、相手国政府からの要請書と、日本側研究者からの事業提案書とが揃った案件について、選考の上で採択する。	採択案件数	活動実績	件	3	4	2		
				当初見込み	件	2～3	2～3	2～3		
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国際共同研究や相手国における社会実装を持続的に可能とするために、相手国研究機関の研究者に対する本邦研究機関での研修を通じて、人材育成(キャパシティディベロップメント)を図る。								
成果目標及び成果実績③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度	
		SATREPS生物資源領域における実施案件下で、人材育成が図られる。	来日した研究員数	成果実績	人	6	40	40		
				目標値	人					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		外務省運営費交付金分の外国人研究員受入の人数(JICA機構内で取りまとめた数)。 相手国実施機関(大学・研究機関等)の実施体制(人員、予算等)におけるバラつきが大きいため、目標値を立てることは困難。								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	SATREPS事業において育成(キャパシティディベロップメント)された相手国研究者と日本側研究者によって国際共同研究が行われ、地球規模課題解決に繋がる研究成果が出される。								
成果目標及び成果実績③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度	
		論文数(共著)		成果実績	本(累積)	455	569	625		
				目標値	本(累積)					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績③-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		SATREPS生物資源領域における実施案件下で、地球規模課題解決に繋がる研究がなされることを通じて、相手国研究機関の研究能力が向上する。	学会発表数	成果実績	報(累積)	3,151	3,333	3,333		
				目標値	報(累積)					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績③-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		特許出願数		成果実績	件(累積)	42	42	42		
				目標値	件(累積)					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		論文数(共著): 日本側研究機関からJICA・JST・AMEDへの報告。 学会発表数・特許出願数: JST・AMEDで取りまとめた数(日本人研究者単独の実績も含まれる)。なお、令和5年度データは両機関が集計中。 地球規模課題対応というチャレンジングな分野において、論文・学会発表・特許出願の量のみならず質をも重視しているところ、目標値の設定は馴染まない。								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	SATREPS事業において産出された地球規模課題解決に繋がる研究成果を、実社会におけるインパクト発現に結びつけるため、社会実装を図る。								
成果目標及び成果実績③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標最終年度 年度	
		SATREPS生物資源領域における研究成果が、社会実装される。		成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	2021年度に実施した社会実装状況に係るレビューの結果として、2008～2016年度に採択された 生物資源領域 27案件(実施中案件を含む)のうち、24案件が、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)等に記載された社会実装を全面的もしくは部分的に実現済、または継続取組み中。 事例として、ベトナムでは、ゲノム分析技術を用いて開発された生育が早く、収量が高く、病気に強い稲の新品種が、国家登録品種として2種承認されることで、同国中部地方1,200ha以上の生産現場での活用されている。またタイでは、ゲノム育種(生殖細胞保存)技術を用いて開発された成長が早く、栄養価が高く、病気に強い魚介養殖技術により、タイ原産魚介類がタイで養殖されることで、生産者の収入拡大、民間参入、日本の食材輸入に繋がっている。
アウトカム設定についての説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由

活動内容④ (アクティビティ)		【防災領域におけるSATREPS案件の実施】 地球規模課題対応に資する5つの研究テーマのうちの一つ。安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市・社会の実現を目指して、自然災害や都市化に伴う大規模災害の防災・減災に関する研究を、日本の経験・知見を生かしながら、全地球的な枠組の中で総合的・組織的に展開する。									
↓											
活動目標及び活動実績④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	6年度 活動見込	7年度 活動見込	
		SATREPS 防災領域 において、相手国政府からの要請書と、日本側研究者からの事業提案書とが揃った案件について、相手国及び我が国の政策・協力重点課題との整合性等を確認し選考の上で採択する。	採択案件数	活動実績	件	2	2	2			
				当初見込み	件	2～3	2～3	2～3			
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国際共同研究や相手国における社会実装を持続的に可能とするために、相手国研究機関の研究者に対する本邦研究機関での研修を通じて、人材育成(キャパシティディベロップメント)を図る。									
成果目標及び成果実績④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		SATREPS 防災領域 における実施案件下で、人材育成が図られる。	来日した研究員数	成果実績	人	12	46	38			
				目標値	人						
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		外務省運営費交付金分の外国人研究員受入の人数(JICA機構内で取りまとめた数)。 相手国実施機関(大学・研究機関等)の実施体制(人員、予算等)におけるバラつきが大きいため、目標値を立てることは困難。									
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	SATREPS事業において育成(キャパシティディベロップメント)された相手国研究者と日本側研究者によって国際共同研究が行われ、地球規模課題解決に繋がる研究成果が出される。									
成果目標及び成果実績④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
		論文数(共著)		成果実績	本(累積)	610	666	684			
				目標値	本(累積)						
達成度	%			-	-	-	-				
成果目標及び成果実績④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
		SATREPS 防災領域 における実施案件下で、地球規模課題解決に繋がる研究がなされることを通じて、相手国研究機関の研究能力が向上する。	学会発表数	成果実績	報(累積)	2,307	2,446	2,446			
				目標値	報(累積)						
達成度	%			-	-	-	-				
成果目標及び成果実績④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
		特許出願数		成果実績	件(累積)	0	0	1			
				目標値	件(累積)						
達成度	%			-	-	-	-				
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		論文数(共著): 日本側研究機関からJICA・JST・AMEDへの報告。 学会発表数・特許出願数: JST・AMEDで取りまとめた数(日本人研究者単独の実績も含まれる)。なお、令和5年度データは両機関が集計中。 地球規模課題対応というチャレンジングな分野において、論文・学会発表・特許出願の量のみならず質をも重視しているところ、目標値の設定は馴染まない。									
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	SATREPS事業において産出された地球規模課題解決に繋がる研究成果を、実社会におけるインパクト発現に結びつけるため、社会実装を図る。									
成果目標及び成果実績④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
		SATREPS 防災領域 における研究成果が、社会実装される。		成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	2021年度に実施した社会実装状況に係るレビューの結果として、2008～2016年度に採択された防災領域21案件(実施中案件を含む)のうち、19案件が、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)等に記載された社会実装を全面的もしくは部分的に実現済、または継続取組み中。 事例としてブータンでは、伝統建築物の耐震化と、地震・震度の観測網に係る研究成果を受けて、耐震化施工マニュアルが開発・普及されると共に、同国初の観測網が構築された。またメキシコでは、スロー地震のメカニズム研究を踏まえて、地震・津波ハザードマップの開発、減災教育プログラムの開発や、政府・地域コミュニティへ提案がなされたことで、南海トラフ等日本にも共通する巨大地震・津波災害メカニズムの理解と減災対策に繋がった。
アウトカム設定についての説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由

活動内容⑤ (アクティビティ)		【感染症領域におけるSATREPS案件の実施】 地球規模課題対応に資する5つの研究テーマのうちの一つ。HIV／エイズ、マラリア、デング熱、結核、高病原性鳥インフルエンザ、エボラ出血熱、COVID-19など新興・再興感染症は、人と物の往来が頻繁な今日、開発途上国のみの問題にとどまらないことから、日本国内での感染症発生時に備えた知見の集積等のため、我が国に侵入し得る感染症に関する国際協力を強化する。								
↓										
活動目標及び活動実績⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	6年度 活動見込	7年度 活動見込
		SATREPS感染症領域において、相手国政府からの要請書と、日本側研究者からの事業提案書とが揃った案件について、相手国及び我が国の政策・協力重点課題との整合性等を確認し選考の上で採択する。	採択案件数	活動実績	件	2	2	2		
				当初見込み	件	2	2	2		
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国際共同研究や相手国における社会実装を持続的に可能とするために、相手国研究機関の研究者に対する本邦研究機関での研修を通じて、人材育成(キャパシティディベロップメント)を図る。								
成果目標及び成果実績⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度	
		SATREPS感染症領域における実施案件下で、人材育成が図られる。	来日した研究員数	成果実績	人	0	21	27		
				目標値	人					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		外務省運営費交付金分の外国人研究員受入の人数(JICA機構内で取りまとめた数)。 相手国実施機関(大学・研究機関等)の実施体制(人員、予算等)におけるバラつきが大きいため、目標値を立てることは困難。								
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	SATREPS事業において育成(キャパシティディベロップメント)された相手国研究者と日本側研究者によって国際共同研究が行われ、地球規模課題解決に繋がる研究成果が出される。								
成果目標及び成果実績⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度	
		論文数(共著)		成果実績	本(累積)	501	570	613		
				目標値	本(累積)					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績⑤-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		SATREPS感染症領域における実施案件下で、地球規模課題解決に繋がる研究がなされることを通じて、相手国研究機関の研究能力が向上する。	学会発表数	成果実績	報(累積)	1763	1898	1898		
				目標値	報(累積)					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績⑤-2 (中期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標年度 年度		
		特許出願数		成果実績	件(累積)	18	18	18		
				目標値	件(累積)					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		論文数(共著): 日本側研究機関からJICA・JST・AMEDへの報告。 学会発表数・特許出願数: JST・AMEDで取りまとめた数(日本人研究者単独の実績も含まれる)。なお、令和5年度データは両機関が集計中。 地球規模課題対応というチャレンジングな分野において、論文・学会発表・特許出願の量のみならず質をも重視しているところ、目標値の設定は馴染まない。								
↓	成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	SATREPS事業において産出された地球規模課題解決に繋がる研究成果を、実社会におけるインパクト発現に結びつけるため、社会実装を図る。								
成果目標及び成果実績⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標最終年度 年度	
		SATREPS感染症領域における研究成果が、社会実装される。		成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	

成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	2021年度に実施した社会実装状況に係るレビューの結果として、2008～2016年度に採択された 感染症領域 20案件(実施中案件を含む)のうち、18案件が、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)等に記載された社会実装を全面的もしくは部分的に実現済、または継続取組み中。 事例としてケニアでは、黄熱病及びリフトバレー熱の迅速診断キットと感染症早期警戒システムが開発され、早期警戒システムがケニア疾病サーベイランス対策システムの一環として全国に普及され、郡の保健情報システムに統合された。またザンビアでは、ウィルス性人獣共通感染症の制圧対策に沿う形で、診断法の確立・改良と、サーベイランス能力の向上を図ったうえ、エボラウィルス抗原迅速診断キットの販売が承認された。
アウトカム設定についての説明	アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由
	アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載	チェック		
---	------	--	--

独法所管部局による点検・改善		
点検結果	●国費投入の必要性: JICA事業は、開発途上国との二国間関係を強化し、国際社会における我が国の発言力を高める非常に有効かつ重要な外交ツールであり、国民や社会のニーズに合致する。また、日本政府の外交政策の下、相手国政府と日本政府との合意に基づき実施する事業であるため、地方自治体、民間等への移管は困難である。 ●事業の効率性: 調達において競争性を確保するとともに、受益者(相手国政府)の適切な費用負担についても相手国政府との議論を各事業において行っている。 ●事業の有効性: 世界各地での紛争、気候変動、インフレなどの複合危機に起因して、開発途上国では事業実施上の障害となる不確実要素が多数ある。その中で、概ね前年度と同等あるいはそれ以上の規模の活動実績を維持している。事業実施においては、「妥当性・整合性・有効性・インパクト・効率性・持続性」の6つの評価項目による事後評価を実施し、より効果的な事業の実施方法の改善を図っており、成果実績についても所期の目標を達する見込み。	目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度)
		令和5年度時点において、目標年度(令和8年度)における成果発現に向けた成果実績が着実に挙げられていると評価する。
改善の方向性	令和5年度における活動はコロナ禍以前と同等規模あるいはそれ以上の水準に戻りつつ順調である。令和6年度以降は、インフレ等による事業コスト増に留意しつつ、事業を進める必要がある。	
備考		

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：千円)

国際協力機構
4,906,011千円
(科学技術協力事業費のみ)

確定値

地球規模課題対応国際科学技術協力
(SATREPS)プロジェクト(※)
4,906,011千円

※科学技術実装型技術協力プロジェクトも含む

確定値

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.					
	費目	使途	金額 (千円)	費目	使途	金額 (千円)			
	直接経費	研究員派遣費、機材費、業務諸費等	120,000	確定値					
	SATREPS事業における大学・研究機関との契約において、直接経費の使途は以下の5つに分けられる。 次項「支出先上位10者リスト」の大学・研究機関との2023年度契約額(注1)総額に占める各費目の割合(注2)は以下の通り。 ①在外研究員派遣費:24% ②外国人材研究員受入費:9% ③機材費:62% ④業務諸費:1% ⑤非課税・不課税取引にかかる消費税相当額:5% (注1)SATREPS事業における契約は、原則として18カ月以下の複数年度に亘る「期」単位で締結されており、2023年度を契約期間に含 む現行契約の額を指す。								
	計		120,000	計					
	C.			D.					
	費目	使途	金額 (千円)	費目	使途	金額 (千円)			
計			計						
E.			F.						
費目	使途	金額 (千円)	費目	使途	金額 (千円)				
計			計						
G.			H.						
費目	使途	金額 (千円)	費目	使途	金額 (千円)				
計			計						
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載									
チェック									

支出先上位10者リスト

A.

確定値

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (千円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となっ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人金沢大学	2220005002604	カンボジアにおける科学技術 協力に係る業務委託契約	120,000	随意契約(企画 競争)			
2	国立大学法人筑波大学	5050005005266	インドネシアにおける科学技 術協力に係る業務委託契約	104,185	随意契約(企画 競争)			
3	国立大学法人東京大学	5010005007398	トルコにおける科学技術協力 に係る業務委託契約	100,000	随意契約(企画 競争)			
4	学校法人順天堂	8010005002330	ミャンマーにおける科学技術 協力に係る業務委託契約	94,967	随意契約(企画 競争)			
5	国立大学法人東京大学	5010005007398	フィリピンにおける科学技術協 力に係る業務委託契約	92,493	随意契約(企画 競争)			
6	学校法人近畿大学	2122005000036	マレーシアにおける科学技術協 力に係る業務委託契約	88,665	随意契約(企画 競争)			
7	学校法人早稲田大学	5011105000953	タイにおける科学技術協力に 係る業務委託契約	77,500	随意契約(企画 競争)			
8	学校法人早稲田大学	5011105000953	ベトナムにおける科学技術協 力に係る業務委託契約	76,000	随意契約(企画 競争)			
9	国立大学法人京都大学	3130005005532	エチオピアにおける科学技術 協力に係る業務委託契約	74,601	随意契約(企画 競争)			
10	国立大学法人秋田大学	2410005001280	タジキスタンにおける科学技 術協力に係る業務委託契約	73,000	随意契約(企画 競争)			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

[illegible]